

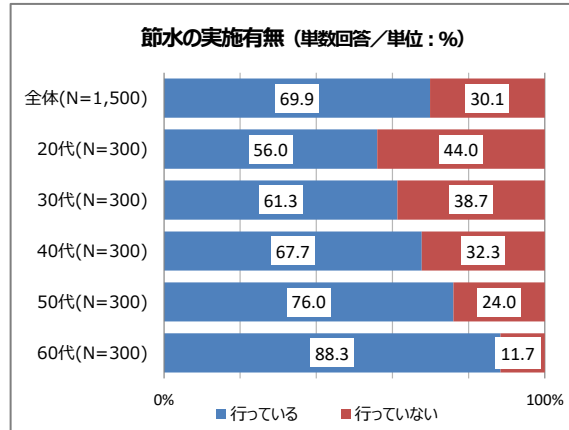
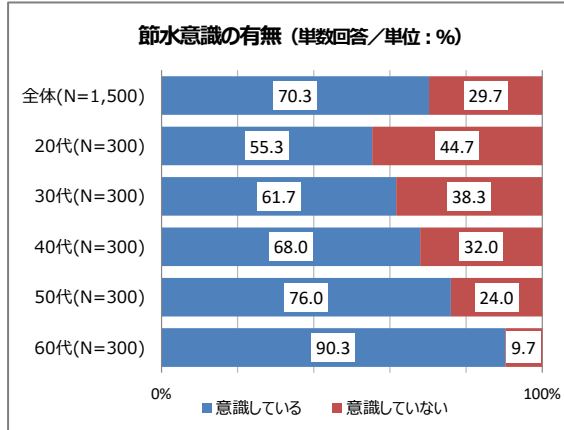
節水の意識と行動

Q.日常生活で節水を意識しているか？（2択）

Q.日常生活で節水を実施しているか？（2択）

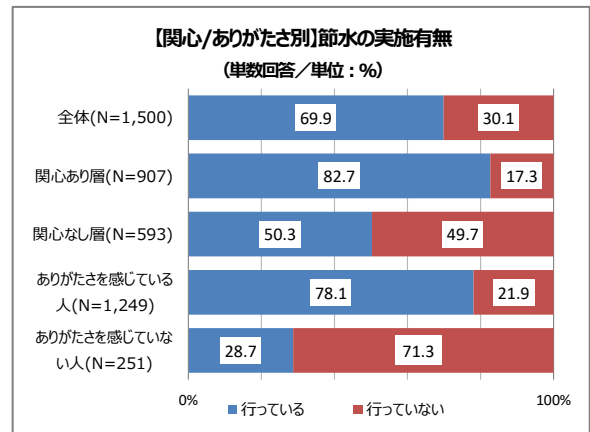
◇意識と行動、ともにやや低下 20代・30代の節水実施率の落ち込みが目立つ

節水への意識と行動は、節水を「意識している」が70.3%、節水を「行っている」が69.9%となり、ともに昨年からやや減少しました。年代別では、節水を「行っている」が20代で56.0%（昨年比10.6ポイント減）、30代で61.3%（同11.0ポイント減）と大きく減少。低年代層における節水実施率の落ち込みが目立ちました。



◇水に関心がない人の過半数が節水を実施

水への関心別および、水のありがたさ別における節水を「行っている」人の割合をみると、「関心あり層」82.7%、「関心なし層」50.3%、「ありがたさを感じている人」78.1%、「ありがたさを感じていない人」28.7%となり、水に関心がない人たちの過半数が節水実施者であることが分かりました。



Q.節水や水の再利用を行う理由は？（13択+その他+理由はない）

◇水に関心がない人の節水理由は、家計のため？

水への関心別に、節水や水の再利用を行う理由をみると、「関心あり層」は1位「水は貴重な資源だから」（53.7%）、2位「水道料金節約のため」（53.6%）、3位「節水は省エネにつながるため」（46.4%）と総じて数値が高いのに対し、「関心なし層」は1位「水道料金節約のため」（50.0%）が抜けて高く、2位「水は貴重な資源だから」（26.7%）以下を大きく引き離しました。

